

第1回ワークショップを開催しました

1、開催にあたって

ワークショップの開催にあたって、樋口市長からワークショップの開催趣旨を含めたご挨拶をいただきました。その後、帝京科学大学の佐渡友講師から、「私が行きたい公園・動物園（監修：並木教授）」として、全国各地の公園や動物園を見てきた経験の中で、自らが行きたい公園・動物園の要素についてお話をいただきました。



2、はじめに

第1回目のテーマ「遊亀公園のあり方を考えよう」を検討する前に現地視察の振り返りを行いました。



「現地視察」の写真をメンバーで確認し、どの写真が好きかを決めて、遊亀公園や附属動物園のイメージを膨らませるように、振り返る時間を取りました。

3、ワークショップはどんな雰囲気だったの？

公園整備に向けたワークショップは、甲府市では初のケースとなります。参加者の皆さんは、リラックスした雰囲気の中で、活発な意見を出し合い、次のような感想が寄せられました。

- ・みんなで話すと膨らむ
- ・オリジナルな意見が出て楽しかった
- ・楽しくて時間を忘れるくらいでした



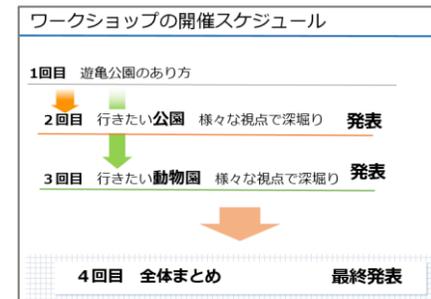
4、ワークショップの進め方

今回のワークショップでは進め方のルールを確認し「遊亀公園のあり方」について考え、意見交換を行いました。次回は、公園について、意見を整理しグループでまとめます。3回目は動物園について同様にまとめ、4回目で全体まとめを行います。

▶▶ 4つのルール ブレインストーミング 注意事項

・悪い情報や、共通の場に出すことが必要！
・新たな発想・アイデアを出すためには・・・

- 1 同席する人の意見を批判しない
- 2 自由に意見を述べる
- 3 多くのアイデアを出す
- 4 人の意見を受けて、発展させる



5、1回目ワークショップの主な意見

遊亀公園の将来像

- ・安全・安心に遊べる公園
- ・誰にでも使いやすい（ユニバーサルデザイン）公園
- ・1日3世代で過ごせる公園
- ・子ども、大人のゾーンを分けた公園
- ・幼児の遊具やアスレチックのある公園
- ・少しでも球技ができる公園
- ・四季の移り変わりが感じられる公園
- ・イベントが開催しやすく賑わいのある公園
- ・レストランやショップのある公園
- ・雨の日でも遊べる公園
- ・木陰のある公園
- ・水遊びのできる公園

【ほしい施設・機能】

- ・トイレ・手洗い場の整備
- ・園路の整備
- ・芝生広場の工夫
- ・清潔な池や施設
- ・混雑しない駐車場
- ・歴史との共存
- ・水遊びができる機能
- ・授乳・おむつ交換が出来る場所



その他

- ・情報発信の強化（SNSなど）
- ・料金の値上げの検討
- ・昭和を感じさせるスペースを残す

遊亀公園・附属動物園 の将来像

附属動物園の将来像

- ・動物にやさしく、ストレスのない動物園
- ・勉強になる動物園
- ・ふれあいや、えさやりができる動物園
- ・動物と距離が近い魅力的な動物園
- ・動物本来の生態が観察できる動物園
- ・古き良き雰囲気が残された動物園
- ・みんながHAPPYな動物園
- ・見学しやすい動物園

【ほしい施設・機能】

- ・トイレ・手洗い場の整備
- ・コンクリートの獣舎の改善
- ・動物治療施設や冷蔵庫の充実
- ・喫煙場所の工夫
- ・池の活用（水辺の生き物）
- ・年間パスポートの導入
- ・飼育員のツアー
- ・説明の工夫（手書きやデジタル）
- ・外国語表記
- ・飼育員の制服をかわいく
- ・マスコットの作成
- ・レトロな遊園地

